

Forest Creative Women's School2023  
本スクールを受講してブラッシュアップした計画（事業）の  
今後の展開予定【一般公開版】

※記載内容は各年度末時点のもの

受講生No	計画（事業）の実施時期	計画（事業）の名称	計画（事業）のねらい・目指す先
1	現在進行形	今と未来の里山を考え、わたしたちの手でつくる事業	（非公開希望）
2	2024年4月から試験的に開始予定	（検討中）	地域資源を活用した新しい産業づくり。
3	2024年5月から	森づくり補助金を使ってみる	2024年5月DIY大人向け、9月DIY子供向け、10月植樹。 今回は外の活動で参加しやすくして、当社を知ってもらいつつ、山林経営の勉強会や県外在住者向けのオンライン講座などにつなげたい。
4	2024年5月から	知多コンポストクラブ 竹コンポスト（仮）	コンポストを5月にマルシェで一般販売予定です。今回は小さくやってみるということで、試行錯誤、改善点を探すための実施です。
5	2024年7月頃実行目標	主名称（未定）～オタク大学生が先生になる森のがっこう～	小中高大様々な年代の学生が馴染みが無い場所（自然）で当たり前交流し、お互いに学びを得られる空間をつくる。
6	2024年7月頃	（検討中）	木っ端や木の香りを通して、社員、地域の方に喜んでもらえる形を作る。
7	2024年8月頃までに	花業界×林業で人と森を繋ぐ、森を守るクリスマスリースプロジェクト	47都道府県にサテライト会場を・・・目標に。 2023年8月頃までにサテライト会場3ヶ所、サポートメンバー30名、助成金申請5つ件予定です。 子供も大人も楽しむ森活用、森に近づけるきっかけづくり、個人が森に感謝の仕組みづくりを。
8	2025年3月	（非公開希望）	（非公開希望）
9	2025年4月目標	徳地チャコールファーム設立	山口市で農業分野からの脱炭素の取り組みと、竹の資源化を通してのコミュニティ、ビジネスの循環
10	2026年4月頃目標	森の中の小さな村で遊んで食べて癒される♪	小さく循環する森をつくることから行い、自然人も多様に集える森を増やしていく
11	今から少しずつ実践	人と森をつなぐ ういず林業女子プロジェクト	林業界の秋元康
12	落ち着いたら直ぐに動けるようにしたい	地域復興プロジェクト??	避難先と故郷を繋ぎたい。色々な形のコミュニティ

※各受講生が非公開希望の情報は掲載していません。

本スクールは、地域事業に挑戦する人たちが集う学習コミュニティ「Local Creative School(略称:LCS)」と、森林づくりの技術や経営改善、地域づくりや交流など森林・林業にかかわる活動を行っている「全国林業研究グループ連絡協議会」との協同により、委託を受けた一般社団法人 全国林業改良普及協会が企画運営して行った（林野庁「令和5年度未来の林業を支える林業後継者養成事業」）。

【問い合わせ先（事務局）】 担当者：一般社団法人 全国林業改良普及協会  
編集制作部 三石 麗 (MAIL: fw-info@ringyou.or.jp TEL: 03-3500-5033 (直通))

Forest Creative Women's School2022  
本スクールを受講してブラッシュアップした計画（事業）の  
今後の展開予定【一般公開版】

※記載内容は各年度末時点のもの

受講生No	計画（事業）の実施時期	計画（事業）の名称	計画（事業）のねらい・目指す先
1	現在進行形 (3月中に意見収集開始。市役所に面談をお願い予定。その反応を見て決めていきたい)	静岡県下田市で国際kubbのイベント開催	地元で古くから暮らす人と海外から移住してきた人たちのコミュニティの活性化
2	2023年4月～	【木育ひろば&木エワーク～日本の森だより【石川県編】～】(提案)	子育て支援・福祉支援や地域の森林・自然環境問題に対する木育事業の必要性や利用価値の拡大を目指す。協力企業や支援団体とのコラボ事業への展開を期待する。 ※具体的実施：4月スクール生の立上げマルシェへの木エワークでの出店、木育福祉施設まつり、木エワーク出店(ボランティヤ)、木育まつり
3	2023年5月起業の目標(現時点)	(非公開希望)	(非公開希望)
4	2023年9月	「野楽里(のたり)」野山を手作りで美味しく楽しむ里づくり	過疎・耕作放棄地が進む中、まず自分が地域産業の担い手となり、昔から伝わる手作りの良さ、技術を伝えていく。そして地域の資源を活かした加工品・加工食品を作り、飲食店・販売所を運営することにより新たな産業を起し、農業・林業で豊かな生活ができる環境を作り、人が集まる地域をつくる。
5	2023年度秋ごろに実行目標	クヌギ、コナラ等椎茸原木林の育成	所有林を次世代に残す際に、夢や希望、熱意を持って山を継いでもらえるように。木材生産だけでなく、様々な活用を検討していく。 具体的には、地域の高級椎茸品種の生産のための原木林の育成を目指し、不足している原木供給と地域貢献に資することをねらいとする。
6	2023年度秋ごろに実行目標	「里住(リズム)を取り戻す地産ブランドづくり「サトモノ」	過疎地から奪われた地域経済の復活と本物のサステナビリティとしての「里の知恵」を次世代に残し、少ない人数・小さな地域こそ無駄なく無理なく動く経済の仕組みを生み出す。
7	2023年度中	キコリと一緒に自然満喫ツアー	2023年度中に林業体験ワークショップ等何かをチャレンジしてみる。林業の普及啓発・島田市観光課の事業に食い込んでいく。
8	2025年	(非公開希望)	(非公開希望)
9	未定	(非公開希望)	(非公開希望) ※2023年2月に端材を活用し試作品の制作等に挑戦したが、課題が生じたため、現在企画を再検討中

※各受講生が非公開希望の情報は掲載していません。

本スクールは、地域事業に挑戦する人たちが集う学習コミュニティ「Local Creative School(略称:LCS)」と、森林づくりの技術や経営改善、地域づくりや交流など森林・林業にかかわる活動を行っている「全国林業研究グループ連絡協議会」との協同により、委託を受けた一般社団法人 全国林業改良普及協会が企画運営して行った(林野庁「令和4年度未来の林業を支える林業後継者養成事業」)。

【問い合わせ先(事務局)】 担当者：一般社団法人 全国林業改良普及協会  
編集制作部 三石 麗 (MAIL: fw-info@ringyou.or.jp TEL: 03-3500-5033 (直通))

Forest Creative Women's School2021  
本スクールを受講してブラッシュアップした計画（事業）の  
今後の事業展開（予定）【一般公開版】

※記載内容は各年度末時点のもの

受講生No	計画（事業）の実施時期	計画（事業）の名称	計画（事業）のねらい・目指す先
1	現在進行形	桐生川源流の未利用資源再生を通じた魅力発見プロジェクト	かつて林業で反映していた桐生川源流地域の山村に残されたお茶、柚子を活用していきながら、スギヒノキの木材生産の林業と併せて、山椒やクロモジ、薪などの商品を生産できる森林を仕立て、水源地域である森林保全に資する。過疎高齢化の地域に新規移住者、町から通いで副業などができる環境が作れる地域を、自営資源を利便し得る地域活性化環境活動・スノーボードをハブとした地域コミュニティを創り、一人一人のつぶやきをアクションに変えて、よい人、よい環境を創る。
2	現在進行形	キララスパイラル	昔ながらの味がする、作り手の顔の分かる調味料づくりや山菜や原生茶、柚子などの加工、枝葉や木の実などを使った自然素材を暮らしに取り入れるヒントをキットにして提供する。
3	2022年春から着手	森の「たからもの」をふんだんに使った〇〇産の定期的な贈物のサブスク	自分たちの森を自分たちで輝かせよう、みんなに紹介しようという気概のある村や地域と共に活動したい。
4	2022年7月目標	地域の木育講師発掘事業	杜の都仙台を象徴する青葉山で森林浴を使ったヘルスツーリズムを企画し、「杜の都といえば、森林浴」が当たり前になって、住む人・訪れる人が気軽に健康・幸福・クリエイティブになれる街をつくる。
5	2022年9月頃お客様受け入れ目標	青葉山×Shinrin-yoku ウェルビーイングトリップ	(非公開希望)
6	2023年春頃実行目標	(非公開希望)	(非公開希望)
7	2024年頃に実行目標	(非公開希望)	(非公開希望)
8	コロナ禍が収束したら	里山大作戦！	森を通して学ぶナチュラルライフと女性のエンパワーメント。
9	未定	〇〇地域の林業を応援したい	〇〇地域の森林、林業が自分ごとになるひとを増やしたい。

※各受講生が非公開希望の情報は掲載していません。

本スクールは、地域事業に挑戦する人たちが集う学習コミュニティー「Local Creative School(略称:LCS)」と、森林づくりの技術や経営改善、地域づくりや交流など森林・林業にかかわる活動を行っている「全国林業研究グループ連絡協議会」との協同により、委託を受けた一般社団法人 全国林業改良普及協会が企画運営して行った（林野庁「令和3年度未来の林業を支える林業後継者養成事業」）。

【問い合わせ先（事務局）】 担当者：一般社団法人 全国林業改良普及協会  
編集制作部 三石 麗 (MAIL: fw-info@ringyou.or.jp TEL: 03-3500-5033 (直通))